

## 2018 年度活動報告

### 総務

#### (1) 会員数

- ・ 2018 年度は入会者 5 名、退会者 3 名、死去 2 名であり、年度末会員数の増減はなかった。年度末の正会員 64 名のうち、女性会員が 12 名、35 歳未満の若手会員が 8 名である。

#### (2) 年会費収入

- ・ 2018 年度の年会費収入は 509,500 円と前年度比 64,500 円の増収であった。

#### (3) 会員紹介

- ・ SRID ジャーナルの「会員紹介」欄において、第 15 号に高津俊司会員、天谷和彦会員、第 16 号に秋田祐一郎会員、仲浩史会員が紹介された。
- ・ SRID Newsletter の「新会員紹介」では、5 月号に天谷和彦会員、7 月号に田中信行会員、8 月号に神森大地会員、9 月号に野口亜弥会員が登場した。また 11 月号ではサロン・エカポールのスピーカーとして、新入会の池田明子会員が紹介された。

### 全体行事

#### (1) 第 45 回年次総会

2018 年 4 月 16 日(月) 18:00~21:00 @JICA 市谷ビル 2 階大会議室で開催。会員 12 名が出席。2017 年度の活動報告、収支決算、及び 2018 年度の活動計画案、予算案が承認された。2017 年度よりキャリア開発事業会計が設立され、大来ファンドを主たる財源として、独立採算制で運営されることになった。

#### (2) 第 1 回 SRID フォーラム

9 月 22 日(土)9:30~17:00@JICA 市ヶ谷ビル大会議室で開催。テーマは「国際協力に今、何ができるか:ODA の役割を探る」。参加者は 25 名(うち ABE Initiative 留学生 3 名)。午前・午後それぞれ 2 セッションずつパネル討論を行い、終了後 J's Cafe で懇親会を行った。フォーラムの内容は SRID ニュースレター 10 月号で報告された。

#### (3) 新年会

2 月 12 日(火) 18:30~21:0 @カラオケパセラ銀座店 B1。「ピアノ曲の夕べ」と題して、湊直信会員と加藤珠比会員によるキーボード演奏のほか、シャンソン、カラオケ、手品、合唱などを楽しんだ。出席者は会員 11 名の他、SRID が活動支援する学生団体 UNION から 3 名が参加した。

#### (4) 趣味のサロン

8 月 13 日(月)19:00~21:15@サロン・エカポール(藤村会長宅)。これまでの「暑気払い」に代えて、

第1回「山の会」を開催した。スピーカーは鈴木博明会員。テーマは「世界の屋根を歩く：エベレスト・トレッキングの体験」。出席した会員7名は料理とワインを楽しみながら、エベレストの山岳写真とトレッキング体験談で清涼感を味わった。

## 幹事会

### 第1回幹事会

5月8日(火) 18:00～20:00 @理窓会倶楽部サロン。従来の会員参加型 SRID シンポジウムを SRID フォーラムに改称して、パネル討論形式で実施することにした(7名出席)。

### 第2回幹事会

6月19日(火) 18:00～19:00@JICA 市ヶ谷ビル 201AB 号室。SRID フォーラムの構成とテーマについて議論し、会員へのアンケートを実施することにした(9名出席)。

### 第3回幹事会

7月7日(火) 18:00～20:00 @理窓会倶楽部サロン。Web サイトのセキュリティ強化について検討した結果、SSL 認証による暗号化オプション契約を付加することにした(5名出席)。

### 第4回幹事会

8月8日(水) 17:30～18:45@JICA 市ヶ谷ビル 2階 ラウンジ。第1回 SRID フォーラムのプログラムや形態について議論した(7名出席)。

### 第5回幹事会

9月11日(火) 18:00～20:00@理窓会倶楽部サロン。第1回 SRID フォーラムの開催準備について協議した(6名出席)。

### 第6回幹事会

10月15日(月) 18:00～18:45@ JICA 市ヶ谷ビル 2階ホール。第1回 SRID フォーラムの開催報告があり、反省点などを議論した(7名出席)。

### 第7回幹事会

11月12日(月) 18:00～19:30@飯田橋「理窓会倶楽部」サロン。2018年度キャリア開発事業学生団体支援金を UNION に支給する。2019～20年度の SRID 会長を公募する(4名出席)。

### 第8回幹事会

12月11日(火) 18:00～18:45@JICA 市ヶ谷 601/602 号室。事務局のパソコン更新について報告した。2019年新年会の開催要領について協議。1月に継続協議とする(5名出席)。

### 第9回幹事会

1月15日(火) 18:00～18:45 @JICA 市ヶ谷 2階大会議室。12月末日締切りで自薦、他薦の会長候補を公募したが、届け出がなかったため、幹事会として候補者を選出する(7名出席)。

#### 第 10 回幹事会

2月12日(火) 18:00～18:30@東銀座「カラオケパセラ銀座店」B1。2019年度の懇談会の開催方針、及びキャリア開発カウンセリングの実施方針について協議した(7名出席)。

#### 第 11 回幹事会

3月12日(火) 18:00～20:00@飯田橋「理窓会倶楽部」サロン。年次総会の開催要領、及び2019年度の会長人事、幹事会構成について協議した(6名出席)。

#### 第 12 回幹事会

4月9日(火) 18:00～20:00@飯田橋「理窓会倶楽部」サロン。年次総会議案書の内容を確認した。(6名出席)。

### 懇談会

- ・ 下記6回の懇談会を開催した。参加者総数180名、うち非会員107名。懇談会のテーマは多岐に渡っており、学生から国際開発のベテランまで毎回多くの参加者があった。
- ・ 懇談会後にはネットワーク懇親会を行い、登壇者・SRID会員・非会員参加者間の交流を促進した。その結果キャリア開発塾の申込者や新規SRID会員の増加に繋がった。(小林<sub>文</sub>)

#### 第 1 回懇談会

6月19日(火) 19:00～21:00@JICA市ヶ谷ビル201AB号室。講師は小林いずみ氏(元MIGA長官)。テーマは「民間企業のSDGsへの取組みとチャレンジ」。参加者は44名(うち非会員29名)。

#### 第 2 回懇談会

7月24日(火) 19:00～21:00@JICA市ヶ谷ビル201AB号室。講師は畑島宏之氏(世銀IEG職員)。テーマは「民間ビジネスを通じたSDGs貢献とその評価」。参加者は36名(うち非会員25名)。

#### 第 3 回懇談会

8月8日(水) 19:00～21:00@JICA市ヶ谷大会議室。講師は鈴木博明会員(世銀コンサルタント)。テーマは「世界銀行を通じた日本の知的貢献」。参加者は23名(うち非会員11名)。

#### 第 4 回懇談会

10月15日(月) 19:00～21:00@JICA市ヶ谷601/602号室。講師は山崎節子氏(元UNDPカンボジア事務所長)。テーマは「UNDPの中所得国協力と国連援助調整の改革:カンボジアでの経験から」。参加者は32名(うち非会員17名)。

#### 第 5 回懇談会

12月11日(火) 19:00～21:00@JICA市ヶ谷601/602号室。講師は弁護士の佐藤直史氏。テーマは「途上国法整備支援の国際動向と日本のアプローチ」。参加者22名(うち非会員16名)。

## 第6回懇談会

2019年1月15日(火) 19:00~21:00 @JICA 市ヶ谷2階大会議室。講師はUNFPA 佐藤摩利子東京事務所長。テーマは「世界の人口問題とSDGs」。出席者は23名（うち非会員9名）。

## ニューズレター

2018年4月号 No. 483

自論公論 三上良悌 「資本主義国における民主主義とルールの変更(1)」

フィッシング紀行 和気邦夫 「冒険とロマンを求めて」

第8回懇談会報告 中沢賢治 「国際機関(UNIDO、EBRD)の現場から眺めた東西冷戦終結後の欧州の動きについて」

あの日、あの時 今井正幸 「伝語弁論大会出場からブルシェに」

2018年5月号 No. 484

第45回年次総会開催報告 山下道子

新会員紹介 天谷和彦

追想:北谷さんに感謝 藤村建夫 「藤村さん、遅いよ！」

2018年7月号 No. 485

会員投稿 三上良悌 「日本と世界の戦後経済史」

新会員紹介 田中信行

第1回SRID懇談会報告 小林文彦 「小林いずみ氏:民間企業のSDGsへの取組みとチャレンジ」

2018年8月号 No. 486

自論公論 中野恭子 「日本型教育とは」

新会員紹介 神森大地、

会員紀行 鈴木博明 「世界の屋根を歩く:エベレストベースキャンプトレッキング」

第2回SRID懇談会報告 小林文彦 「畑島宏之氏:民間ビジネスを通じたSDGs貢献とその評価」

2018年9月号 No. 487

自論公論 佐藤桂子 「ハノイで考えるベトナムと日本の今後」

新会員紹介 野口亜弥

第3回SRID懇談会報告 小林文彦 「鈴木博明会員:世界銀行を通じた日本の知的貢献」

旅の千夜一夜物語・第16夜 加藤珠比 「ケープタウンで感じた緊張感」

2018年10月号 No. 488

自論公論 今井正幸 「トランプ外交と日本の姿勢」

第1回SRIDフォーラム開催報告 神田道男

会員投稿 小浜裕久 「『ADB50年史』監訳顛末記」出張報告

2018年11月号 No. 489

サロン・エカポール開催報告 藤村建夫 「池田明子会員：国連機関は受難の時代か？」  
第4回懇談会報告 小林文彦 「山崎節子氏：UNDPの中所得国協力と国連援助調整の改革：  
カンボジアでの経験から」  
三上サロン開催報告 黒田次郎 「米中の覇権争いや関税競争等々」  
旅の千夜一夜物語・第17夜 藤村建夫 「全員がエビに当たった？」

2018年12月号 No. 490

アルゼンチン紀行 小浜裕久 「『不思議の国』アルゼンチン」  
第5回懇談会報告 小林文彦 「佐藤直史氏：途上国法整備支援の国際動向と日本のアプローチ」  
会員投稿 神森大地 「外国人研修生と共に学んだ現場からのレポート」

2019年3月号 No. 491

第6回懇談会報告 小林文彦 「佐藤摩利子氏：世界の人口問題とSDGs」  
会員投稿 中野幸紀 「21世紀発展途上国経済の推移と展望」  
帰国報告 浪川真祐子 「派遣国ベナンの開発課題と私の2年間の活動」  
故三上良悌会員を偲んで 山下道子  
新年会開催報告 山下道子

## SRID ジャーナル

### (1) 編集委員会の開催

2018年度の企画・編集は藤村建夫委員長以下、浅沼信爾、高橋一生、福田幸正、湊直信、山岡和純の6名が担当し、中島千秋が事務局を務めた。編集会議を5月21日、7月9日、9月26日、12月26日の4回開催した。

### (2) 第15号及び第16号の発行

第15号は「紛争後の国づくりの多様な過程」を特集のテーマとして7月に、また第16号は「一帯一路」を特集のテーマとして1月に発行した。現在、会員以外のジャーナル登録読者数は359名である。(中島)

## キャリア開発事業

### (1) 運営委員会

中沢賢治委員長以下、藤村建夫、神田道男、小林文彦の4名が運営方針を決定し、事業の計画、実施、宣伝などを担当している。

## (2) 事業の実施

- ・ 出張講座、カウンセリングともに多くの実績が上がり、事業が定着しつつある。
- ・ 実績総括表を作成し、規約に基づいて4半期ごとに幹事会に報告を行っている。本格実施2年目にあたる2018年度についてはSRID講師陣の活動を定着させる段階にある。将来的には実績の検討を通じて事業の質の向上を目指すことが課題となる。
- ・ 出張講座、カウンセリング活動の活発化を目指す方策として、大学のゼミや学生団体のイベントなどとの連携を図っている。

## (3) 学生団体支援金

2017年度に学生サークルUNIONよりSRIDからの助成について申請を受領した。審査の結果2017年度の助成対象団体としてMISが選ばれ、UNIONについては継続して検討することになった。UNIONの設立と活動実績の概要は以下の通り。

- ・ 2016年に「JPOワークショップ」として設立された学生サークル。
- ・ 東京大学校友会団体である国際機関銀杏会の滝澤三郎、中沢賢治各共同代表が顧問。
- ・ 2017年 Union(United Nations and International Organizations Network)に改称。
- ・ 活動目的は1)グローバルな課題についての理解、問題意識を深めること、2)国際機関に関心のある学生間、学生と経験者とのネットワークを形成すること。
- ・ 主要な活動として国連・国際機関経験者を講師に招いてワークショップを実施。

2018年4月のサークル新入生勧誘イベントにSRID講師である中沢幹事が参加し、さらにUNION主催のワークショップでも中沢幹事、小林幹事が春と秋で3回の講義を実施した。また2018年10月の東京大学ホームカミングデーイベントとして開催された国際機関銀杏会公開セミナーにはSRID講師陣(中沢、藤村、黒田、小林)とUNIONの松井代表が参加し、同イベント終了後の懇親会でも今後の協力について協議した。2018年10月のサロン・エカポール(池田明子会員(FAO 人事局社会保障・人的資源チーフ)が「国連機関は受難の時代か?」について発表)にも3名のUNIONメンバーが参加し、終了後キャリア形成について懇談を行った。このような実績を踏まえてUNIONを2018年度のSRID助成対象学生団体とすることが運営委員会で承認され、11月の幹事会に報告された。2019年1月のSRID新年会にはUNIONから3名のメンバーが参加し、終了後の懇談会でSRIDの藤村会長と国際開発分野でのキャリア形成について話し合いが行われた。

SRIDからの助成金は、UNIONのワークショップ開催に当たって必要なプロジェクター、アダプターなどの購入(6万円程度)、毎回のワークショップ講師への飲料・お菓子代(1万円程度)、新入生歓迎イベントなどの諸経費(1万円程度)に使用予定。助成金はUNIONの口座で管理し、経理報告書を年度ごとに作成予定。今後のSRIDとの連携についてはSRIDとUNIONのワークショップの共催などを含めて連携の強化を図る予定。UNIONとしては学生のプレゼンスキル向上などの研修を希望している。活動のモニタリングについては、今後とも推薦人である中沢幹事が行う予定である。(中沢)

## 2018 年度キャリア開発事業実施状況

活動内容	活動状況		支援対象
	件数	参加者数	
1. 出張講座	23	427	JICA、名古屋工大、立教大、東京外語大、上智大、大学コンソーシアムあきた、熊本大、東洋英和生涯学習センター、法政大、ノースアジア大、学生サークル UNION、他
2. 能力開発・向上研修	5	34	筑波大院生、サセックス大同窓会、茨城大、法政大、岐阜大垣北高
3. カウンセリング	18	22	学生 11 名、社会人 11 名
4. 国際機関職員支援	1	1	UNDP
5. 学生団体活動支援	2		NPO 法人 MIS モニタリング。2018 年度は UNION 助成。
6. 他の組織との連携	2	-	国際機関银杏会との連携。東洋英和女学院大学院との連携。

### 他団体との連携推進

#### (1) 日本評価学会

SRID の懇談会の開催案内は日本評価学会事務局を通じて会員に送った。特に第 2 回の「民間ビジネスを通じた SDGs 貢献とその評価」は関心が高かった。また、SRID の名前も学会内で徐々に浸透してきている。(湊)

#### (2) ABE Initiative 留学生

- ・ 2018 年 9 月 22 日(土)に JICA 市ヶ谷ビル大会議室で開催された第 1 回フォーラム「国際協力に今、何ができるか:ODA の役割を探る」において、ABE Initiative 留学生 3 名が参加し、うち 2 名が発表を行い、議論にも積極的に参加した。
- ・ タンザニアからの留学生で現在筑波大学博士課程に在籍している Mr. Kindole は SRID の正会員となった。同氏が自身のフェイスブックにフォーラムで発表を行った記事を書いたところ、同氏の本国タンザニアの友人や日本国内に留学している他のアフリカ人留学生たちから多くの賞賛する声があがった。
- ・ 2019 年度は、昨年同様 ABE Initiative との連携の他に、キャリア開発事業とも協力し学生サークル UNION に連携をはたらきかけるなどを計画している。また、SRID 会員である萩原氏が活動するアフリカ協会との連携を模索している。(小久保)

### サロン

(3) サロン・エカポール

10月25日(木)19:00~21:00@サロン・エカポール(藤村会長宅)にて開催。ゲスト・スピーカーは池田明子会員(FAO 人事局社会保障・人的資源チーフ)。トピックは「国連機関は受難の時代か?」。参加者は13名(うち非会員8名)。非会員のうち3名がキャリア開発事業の活動支援対象となった学生団体UNIONの学生。終了後キャリア形成について懇談を行った。

(4) 三上サロン(最終回)

10月21日(日)12:30~16:30@グランクレール(故三上会員のケアハウス)にて開催。豪華な施設を見学した後、米中の覇権争いや関税競争等々、最近の世界情勢について議論した。参加者は会員5名。なお、主宰者である三上良悌会員が2月22日に死去したため、長年にわたり会員に懇談の場を提供してきた「三上サロン」は終了した。